

平成 24 年 7 月 23 日
ジオスター株式会社

ジオスター株式会社のベトナムにおける生産拠点、
日本下水道協会の認定工場としての認定を取得

ジオスター株式会社（社長：栗山実則）は、昨年 10 月に東京エコン建鉄株式会社と合併し、従来からのコンクリート製セグメントに加え、鋼製セグメント及び合成セグメントなど、あらゆる種類のセグメントを生産できる体制を整え、シールドトンネル分野のセグメントにおけるトップメーカー「新ジオスター」としてスタートを切りました。

当社は合併以降、千葉工場の閉鎖による鋼製系製品生産の茨城工場への集約・リフレッシュ化など、国内において最強のコスト競争力と品質競争力を有する合理的な生産体制の構築を進めて参りました。

一方、ベトナムのホーチミンやインドネシアのジャカルタの地下鉄工事など、今後東南アジアでのシールドトンネル工事用セグメント需要の拡大も見込まれることから、日本のみならず、東南アジアも視野に入れた生産体制を構築すべく、東南アジアでの新たな生産拠点についても検討を進めて参りました。

この度、当社はベトナムホーチミン市郊外の 276MC を鋼製セグメント製造工場として日本下水道協会に申請し、厳しい審査を経た上で、7 月 1 日付けで認定工場としての認定を取得致しました。尚、認定取得にあたっては、当社の鋼製セグメント国内製造委託先であるテクノス株式会社（社長：中川正俊）の協力を得ております。

鋼製セグメントに関し、海外において日本下水道協会の認定を取得したのは当社が初めてであり、これにより、国内外シールドトンネル工事での多様なニーズに対応できるセグメント生産体制の構築への第一歩を踏み出すこととなります。

当社は当面、国内プロジェクトにて実績を積みながら生産体制の整備に努め、セグメントの受注・生産・デリバリーに万全を期すと共に、今後とも社会基盤整備に尚一層貢献して参ります。



写真-1 試作セグメント(仮組み)



写真-2 試作セグメント(ピース)

(お問い合わせ先)

土木・セグメント事業部

セグメント・鋼材加工営業グループ TEL:03-5844-1206

以上